



若基小だより

第3号 令和3年6月3日

文責 校長 本村 一浩

■ GIGA スクール元年 ～1人1台タブレット端末を活用して～

国の補助を受け、我が基山町立3校においても、「GIGAスクール構想」を具現化すべく、1人1台のタブレット端末を購入していただき、この4月に全員に貸与されました。児童は、この貸し出された端末を、卒業時に返却するまで「自分のパソコン」として大事にしなが、学びのあらゆる場面に活用していきます。情報機器を正しく使いこなすことは、これからの社会を生き抜く子供たちには必須の能力です。学校としては、これまでの鉛筆やノートのようなアナログの学用品とこのタブレット端末の「ベスト・マッチ」を



↓ 4月の2年生。まずは自分のアカウント、PWを使ってログイン・ログアウトすることから始めました。

↑ タブレット端末の保管庫兼充電器です。1Fは児童玄関付近に、2・3Fは多目的ホール付近に設置しています。児童下校後の夕方～翌朝にかけて、数十台ずつ時間をずらしながら充電していく仕組みになっています。



探りながら、新しい時代を切り拓く子供たちの能力をより良く付けていきたいところです。この端末には、町教委からドリルソフトもインストールしてもらいました。これまでプリントや冊子で行っていた基礎的な学習が、デジタルでできるようになりました。その朝の「スキルタイム」において計算練習やローマ字を使ったタイピング練習などに挑戦しているところです。そして、授業では、この端末を表現の道具として使えないか、考えを交流するツールとして使えないか模索中です。コロナ禍の現在、子供どうし輪になって討論したり協働したりする交流学習ができてくれています。端末があれば、席が離れていてもそれぞれの考えや思いをデータとして見せ合うことで、多様な考えの交流が可能になりそうです。そして、夏休みには端末を家庭に持ち帰せ、次の2つの活用を考えています。

↑ ICT支援員の安部隆文先生が個別指導をなされています。週2回程度本校に勤務され、支援として下さいます。

そして、夏休みには端末を家庭に持ち帰せ、次の2つの活用を考えています。



↑ 保管庫にしまう様子。両手で大切に扱っていますね。

■ 文部科学大臣からのメッセージ

不安や悩みを抱える全国の児童生徒等に向けて、また、子供たちを支える保護者様・地域住民の皆様に向けて文部科学大臣から以下のメッセージ「不安や悩みを抱える全国の児童生徒や学生等のみなさんへ」が発表されました。3ページ目に紹介されている動画については、ぜひご家庭のパソコンやタブレット、スマートフォンなどを用いて、お子さんとご一緒にご覧下さい。

保護者や学校関係者等のみなさまへ

コロナ禍において児童生徒等の自殺者数が大きく増加していること、また、長期休業明けに児童生徒等の自殺者数が増加する傾向にあり、不安や悩みを抱える子どもたちが増えることも考えられます。保護者や学校関係者、地域のみなさまにおかれましては、子どもたちと向き合い、話を聞く・話し合いをする時間を積極的に取っていただくようお願いいたします。

「誰も自殺に追い込まれることのない社会」を実現するためには、国民一人ひとりが身近な人の様子を気遣い、支えていくことが不可欠です。文部科学省としても、児童生徒等の命を守り通せるよう、引き続き、自殺予防の取組に全力を尽くします。

令和三年五月

文部科学大臣 萩生田 光一

- ① 宿題としての活用：従来「夏の〇〇」といった冊子状の問題集を購入して学習させていたが、今年からは、「ドリルソフトのこまごま」という課題を出すこととなります。子供にとっては、解答直後に瞬時に正否が分かる、教師はパソコンの画面からそれぞれの子の進捗を把握できるという利点があります。
- ② 「グーグル・ミーティング」という機能を使って、リモートで健康状態を確認します。8月〇日の〇時、という指定をして、画面上で、またやり取りの音声でお子さんの状態を確認します。近い将来、授業で活用することも考えられて、これはその布石かと考えてよいかと思います。

児童生徒や学生等のみなさんへ

現在、新型コロナウイルス感染症が広がる中で、皆さんの中には不安を抱えている人がいるかもしれません。新学期の始まり、春休みやゴールデンウィークの終わりなど、不安や悩みを抱えていても、決して一人ではありません。ご家族、先生、周りの友達、誰にでもいいから悩みを話してほしい。私をはじめ、周りの大人は皆さんの味方です。

文部科学省では、24時間子供SOSダイヤルから電話相談を受け付けており、各地域にも電話やSNSなどで相談できる窓口、また、各大学等にも相談窓口があります。周囲に相談しづらいときは、ぜひ利用してみてください。

「君は君のままでいい」
(相談窓口PR動画)



<https://youtu.be/CiZTk8vB26I>



子供のSOSダイヤル等の相談窓口

24時間子供SOSダイヤル(通話料無料) なやみ言あさ
0120-0-78310



https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm

令和三年五月
はまうたのひかり
文部科学大臣 萩生田 光一